

IME [ai c m ū c] 中小企業の生き残り作戦！ ONLY QTA QUALITY 未来職人 こだわりの仕事

中堅・中小製造業の経営革新

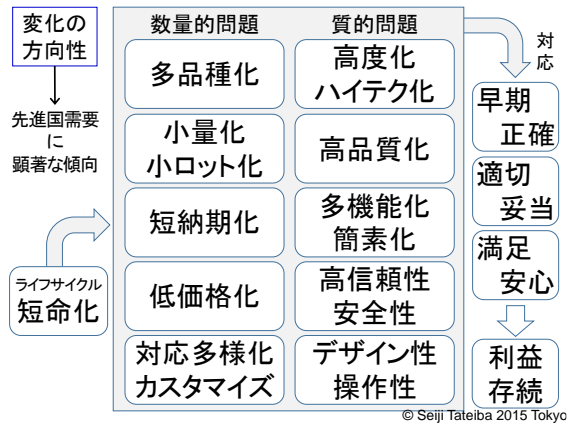
# 原価マネジメントの考え方

株式会社 IMEコンサルティング  
代表取締役 立居場誠治

## 定期経営セミナー開催予定

- ・場所  
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田  
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20  
TEL:03-3733-6600
- ・日時  
2月26日(金) F会議室  
3月25日(金) F会議室  
4月22日(金) F会議室  
18:30から1.5~2時間程度
- ・テーマ  
・企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する

### 1. 社会、受注の変化

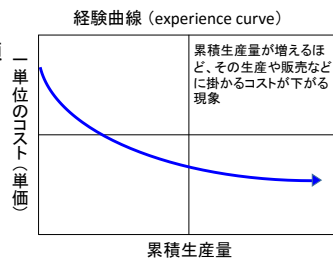


### 2 原価マネジメントの重要性

#### (1) 経験によるコストダウンの期待

経験曲線 (experience curve)

- ・累積生産量が増えるほど、その生産や販売などに掛かるコストが下がる現象をいう考え方。
- ・労働集約的で同じ作業を繰り返す産業ほど、経験曲線効果は高い傾向がみられる。



#### (2) 多品種小量化の影響

多品種少量生産により、段取り回数(比率)が増加し稼働率が低下する。

また、製品毎に各工程の仕事量が異なる為、多品種化はバランスロスによる時間ロスを生じさせる。

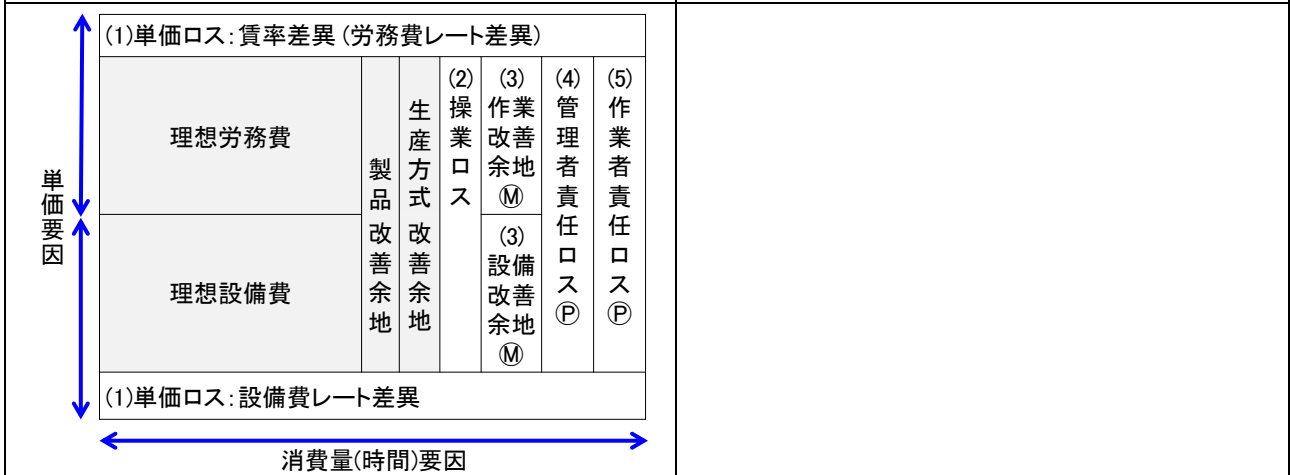
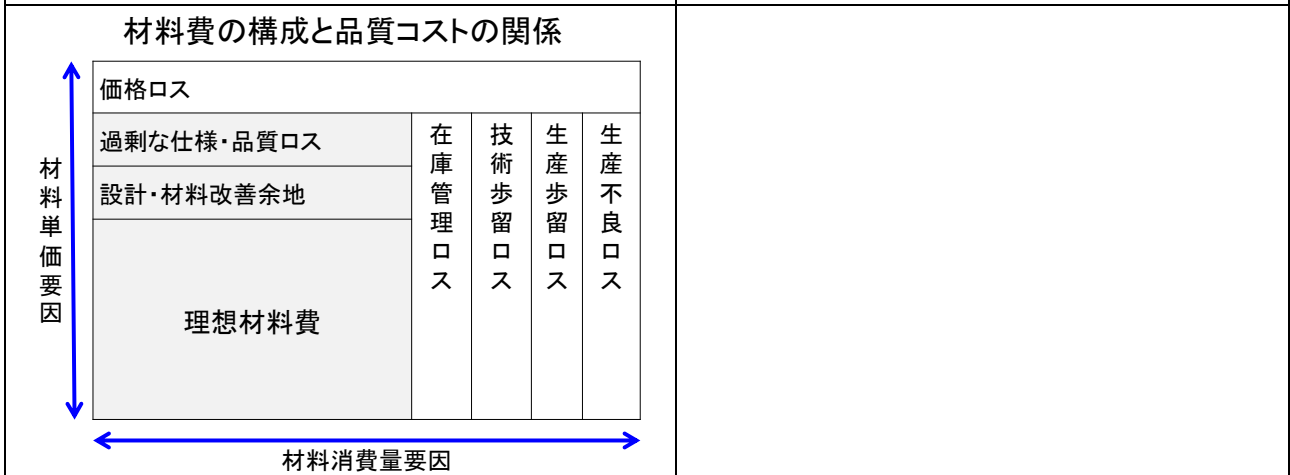
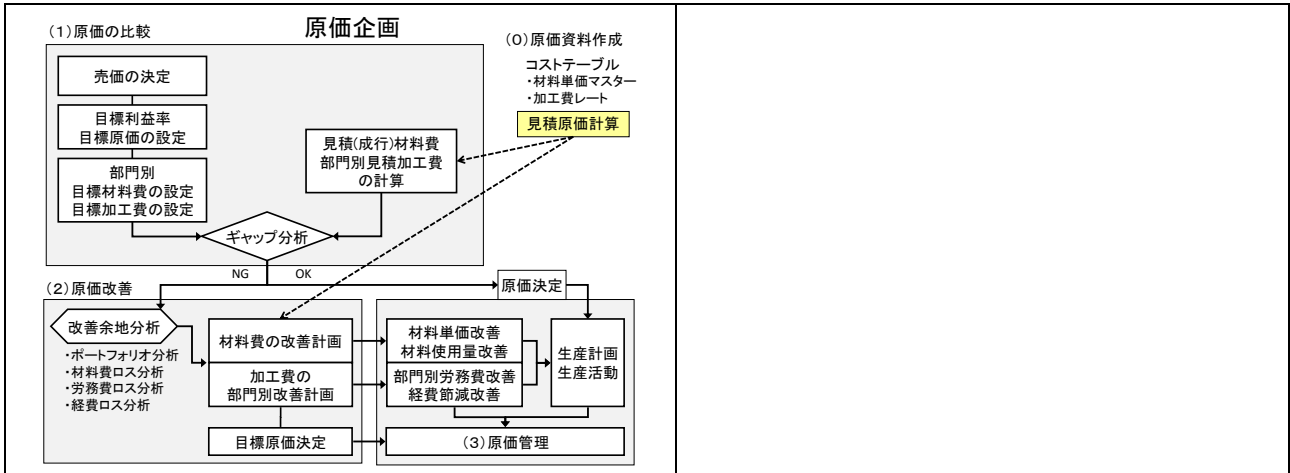
#### (3) 短納期化の影響

納期に余裕があれば、類似品をまとめて生産し、工程分担やシフトを変化させてバランスロスに対応することができる。しかし、短納期であれば多能工が多数いない限りバランスロスの随時対応は困難である。

#### (4) 短命化の影響

前出の経験曲線効果が得られない為、日常の工夫などで自然にコストを下げることは期待できない。

3. 原価マネジメントの方向性



5. 原価マネジメントの要領・計画

実態調査と計画作成	改善活動	システム構築	管理活動
1) 売上・利益目標設定	6) 改善教育	11) 生産管理システムの改善	13) 原価管理委員会
2) 原価目標設定	7) 稼働分析	12) 原価管理システム構築	14) 実績検討会
3) 製品別原価計算	8) 工程分析 (改善考案)		15) 管理ロスの改善
4) コストダウン計画	9) 生産方法の改善		16) 作業ロスの改善
5) 教育訓練の充実	10) 作業の標準化		